

東日本大震災第二次派遣調査チーム行動計画

2011年4月11日作成

目的

第一次派遣隊が支援活動を終了し数週間経過した。

被災地の状況は、支援スタイル、被災者のニーズも日々変化していると思われる。

そこで、4月18日以降に第二次派遣隊を送り活動する予定としているが、その前に、被災者への「物資の支給状況」「医療体制の確認」「ニーズの変化」など現地の状況確認を行う事とした。

今回の予備調査チームは第一次派遣隊が物品提供時に作成した「物品受領書」をもとに、避難所を訪問し「効果的な二次派遣活動に向けた調査」が目的である。

日程

平成23年4月12日（15時弘前出発～19時東和町着予定）

～平成23年4月14日（18時弘前着予定）

宿泊先

12日：フォルクローロ東和（花巻市東和町）

13日：及川旅館（釜石市）

予備調査予定地域

山田病院（昭和大学医療チーム）山田町船越地区、大槌町浪板地区、山田南小学校

地域としての物資状況、インフラの整備状況、商業施設の復旧状況（給油所、商店等）

提供物資

消石灰：20kg×10袋

医薬品：風邪、目薬（抗菌剤）、下痢止め（タントローゼ）、下剤（センノサイド）、整腸剤（ミヤBM）、イソジンうがい薬、クロロマイセチン軟膏、ビタ

ミン剤（100C×3箱）、太田胃散（分包）
保護眼鏡（20個）、ドライシャンプー
キンチョール12本、ウナ3本、虫除けスプレー2、3本
りんご（保冷剤）（昭和大学責任者：石崎さん、武政先生）
写真
お菓子（武政宅、及川旅館）
サッカーボール2、3個、体温計：5～6本
日本酒（二本）

装備

保護眼鏡、軍手、ゴム手袋
青色のブルゾン、カップ、帽子、傘
タオル（多めに）トレッキングシューズ
食料：4食分
水：2L×10本
軽油：40L
クッキングセット：一式
医薬品（ボルタレンサポ、ブスコパン）セット
カメラ、DVDカメラ、ICレコーダー

調査チーム隊長
坂本賢